

<補足説明資料>
**株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズとの
協業関係解消等に関するリリースの補足説明**

2021年1月29日
ナブテスコ株式会社

1/29のリリース内容の整理

1/29 16:00に以下3件のプレスリリースを行いました。

1. 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズとの協業関係の解消並びに持分法適用関連会社の異動及びこれに伴う利益の計上（2021年12月期）に関するお知らせ
2. 保有株式の一部売却(予定)等に関するお知らせ
3. 自己株式の取得枠の設定および自己株式消却に関するお知らせ
（会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得および会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却）

ハーモニック・ドライブ・システムズ社との協業関係の経緯と解消

協業関係



協業解消

【目的】

- ・両社の更なる企業価値の向上
- ・それぞれに保有する技術を活用し、新市場の創造を模索

- ・ 2005年12月 米国において合併会社(Harmonic Drive L. L. C.)を設立
 - ハーモニック・ドライブ・システムズグループ 51%出資
 - ナブテスコグループ 49%出資
- ・ 2009年 6月 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ持分法適用関連会社化(保有株式数20%)
- ・ 2018年 2月 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの増資に伴う第三者割当新株予約権の引受け(行使期限2023年2月)(保有株式19.03%、新株予約権(株式の0.97%相当))

【背景】

- ・ 2023年の新株予約権行使の際に、約1%の株式取得に大きな資金が必要となるが投下資本に対する回収率が低い。
- ・ 両社での米国合併事業は一定の成果が出るも、協業を続けることでの更なるシナジーの発現は期待できないと両社で判断。

株式売却決定について

株式売却

- ・ コロナ禍の環境を踏まえ、当社の財務基盤強化と中長期課題への対処に資金が必要



財務基盤強化と 中長期課題への対処

- ・ 手元流動性の確保と社債償還
- ・ SDGsに対応する環境配慮型の工場建設
- ・ インオーガニック投資 (M&A・CVC*)

* Corporate Venture Capital

株主価値の向上

- ・ 自己株式の取得による株主還元

協業解消に伴う売却予定の資産

(1) 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ新株予約権

→株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社へ買取請求権を行使
(株式の0.97%相当)

(2) 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ普通株式

→保有株式19.03%の半数を野村證券へ売却。野村證券からは、市場需給への影響を極力回避すべく、長期保有を目的とする投資家等への転売も視野に入れながら、時間をかけて売却を進めていく予定（詳細はP7へ）

(3) 米国合弁会社(Harmonic Drive L.L.C.)の持分

→当社の米国子会社（Nabtesco USA Inc.）は、ハーモニック社の米国子会社（HD Systems, Inc.）との合弁会社（Harmonic Drive L.L.C.）の持分49%について、合弁契約の定めに従い、HD Systems, Inc.に譲渡する予定

資産売却で得られるキャッシュ（想定）と用途

株価8,000円前提で当社保有株式の売却を行った場合、売却収入は約1,000億円（税引後）

保有するハーモニック・ドライブ・システムズ社全株式売却(18,320,400株)

今回売却予定対象株式（9,160,200株）

●株主還元

200億円

- 自己株式取得および消却
(上限440万株もしくはは200億円)

●財務基盤強化

300億円

- 手元資金の流動性の確保
- 第二回無担保社債の償還
(2021年12月満期)
- 株式売却取引の精算金

将来売却予定株式（9,160,200株）

500億円

●成長投資

- ・垂井工場・浜松新工場
「環境配慮型スマート工場」
- ・各種研究開発
- ・M&AやCVCでの案件投資

株式売却手法の概要

- 協業関係解消に伴い、保有するハーモニック・ドライブ・システムズ株式の半数を、市場需給への影響を極力回避するよう配慮しながら市場売却します。
(売出しや海外ABB*による売却ではありません)

売却方針	保有株式の半数を売却 残りの半数の保有株式については時期・手法を含め株価や市場需給への影響を考慮し決定予定
売却先	野村証券による立会内市場での売却 (一部機関投資家等への売却可能性もあり)
売却手法のポイント	野村証券からは、市場需給への影響を極力回避すべく、長期保有を目的とする投資家等への転売も視野に入れながら、時間をかけて売却を進めていく予定 (売出しや海外ABB*による株式売却ではない)
売却予定数量	9,160,200株 (保有株式の半数、発行済み株式比9.51%)
取引実行日	取引を実行次第お知らせ
売却状況の開示	取引実行時に一度のみ、以降は証券会社の保有分に内包される形で開示 (含む大量保有報告)

*Accelerated Book Building : 証券会社等を通じ、短期間 (オーバーナイト等) で海外の機関投資家等へ株式を売却する方法

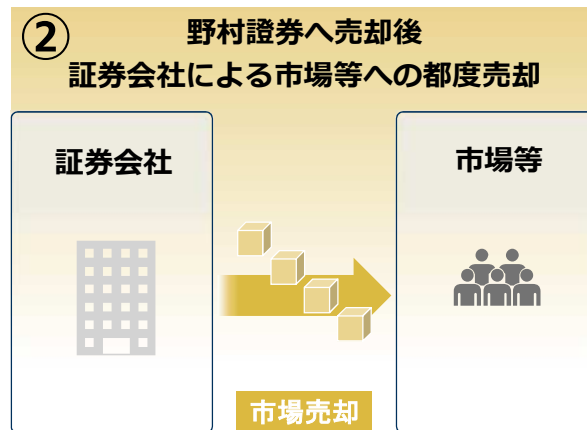
株式売却手法の概要(イメージ図)

- 当社は野村證券にハーモニック・ドライブ・システムズ株式の保有株式の半数(9,160,200株)を売却。同社は、市場流動性見合いでの売却規模の大きさに鑑み、市場インパクトに配慮しながら市場売却



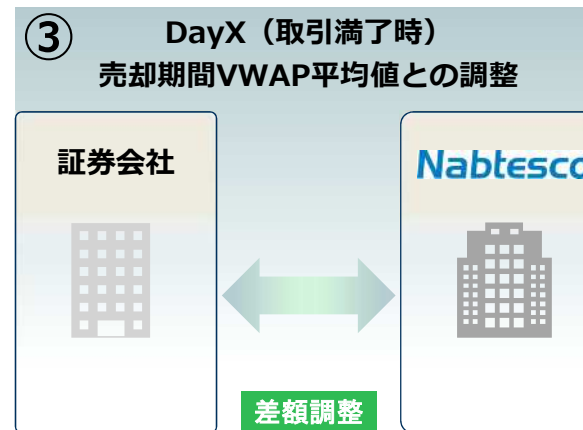
売却日の終値で売却完了

- 売却契約で定めた日(以下、売却株価)にてナブテスコは証券会社に売却完了
- 売却分の議決権は減少



市場流動性に最大限配慮し売却

- 証券会社は市場の流動性に配慮しながら株式を売却
 - 出来高や株価基調に応じて市場売却
 - 機関投資家(長期保有目的の投資家)等への売却も適宜活用



売却日終値と売却期間のVWAP平均値で調整

- 証券会社での売却完了時に、売却期間のVWAP*平均値と当初売却株価の差額を調整
 - 売却株価 < VWAP平均値の場合、証券会社がナブテスコに差分を支払い(ナブテスコはキャッシュイン)
 - 売却株価 > VWAP平均値の場合、ナブテスコから差分を証券会社に支払い(ナブテスコはキャッシュアウト)

* Volume Weighted Average Priceとは、売買高加重平均価格のことで、当日の取引所で成立した価格を価格ごとの売買高(出来高)で加重平均したもの

2021年の連結決算に与える影響

- 当社の2021年度決算の当期利益等に与える影響は、可能な範囲で2021年12月期予想（2月10日開示予定）に織り込む予定。
- 四半期ごとに当社保有のハーモニック社全株式を各四半期末の株価に基づいて再評価し、評価差額は連結決算において国際会計基準に基づき、評価損益（金融収益又は金融費用）に計上予定。
- 今回売却予定の株式（半分）の売却益は、取引満了時に、野村証券との差額精算を実施した上で連結決算に計上予定。
- 当社とハーモニック社との間では直接取引はほとんどないため、本協業関係の解消による当社への事業活動の影響は軽微。
- ハーモニック社および米国子会社（Harmonic Drive L.L.C.）の「持分法による投資利益」は1/30以降取り込まない。